# 2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名　　株式会社Ｍｉｓｕｍｉ　　上場取引所　　福
コ ー ド 番 号　　7441　　URL　https://kk-misumi.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　平田　慶介
問合せ先責任者　（役職名）　取締役サポート本部長（氏名）　今林　俊人　　(TEL) 099-260-2213
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　　2026年12月４日
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

## １．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

### （１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 30,537 | 5.9 | 235 | 93.5 | 516 | 66.2 | 325 | 90.8 |
| 2026年３月期中間期 | 28,849 | △0.7 | 121 | 210.7 | 310 | 8.1 | 170 | △60.0 |

（注）包括利益　2027年３月期中間期　738百万円（△15.3%）　2026年３月期中間期　871百万円（　—%）

| | １株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後１株当たり中間純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | 57.31 | — |
| 2026年３月期中間期 | 29.91 | — |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 43,673 | 22,228 | 50.2 |
| 2026年３月期 | 43,458 | 21,654 | 49.1 |

（参考）自己資本 2027年３月期中間期　21,920百万円　　2026年３月期　21,342百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年３月期 | — | 25.00 | — | 25.00 | 50.00 |
| 2027年３月期 | — | 25.00 | | | |
| 2027年３月期(予想) | | | — | 25.00 | 50.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

## ３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 66,437 | 10.7 | 1,054 | 9.9 | 1,501 | 7.2 | 881 | 4.9 | 155.13 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年３月期中間期 | 6,100,503株 | 2026年３月期 | 6,100,503株 |
| ②　期末自己株式数 | 2027年３月期中間期 | 431,569株 | 2026年３月期 | 418,769株 |
| ③　期中平均株式数（中間期） | 2027年３月期中間期 | 5,674,685株 | 2026年３月期中間期 | 5,699,207株 |

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 10
（セグメント情報等） …… 10

# １．経営成績等の概況

## （１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴う原油をはじめとする資源価格の高騰や金融資本市場の変動に加え、地震や豪雨等の自然災害による影響も懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「既存事業の強化」と「新規事業の開拓」を両輪とした経営戦略を推進しております。「既存事業の強化」では、主力のエネルギー事業において、法人顧客の新規開拓及び既存顧客に対する営業活動を拡充し、燃料油・ＬＰガスの販売シェア拡大に努めております。また、その他の事業においても、営業力の底上げや接客・サービスの更なる向上を目的に、社内研修を充実させ、お客様との関係性や信頼性の構築に努めております。一方、「新規事業の開拓」では、新業態として「韓丼」「駿河屋」「業務レンタカー」「ステップゴルフ」事業への新規参入を行うなど、多様化する消費者ニーズに対応した店づくりに取組んでおります。

以上の結果、当社グループの主力事業であるエネルギー部門において、ＬＰガスの販売価格が前期に比べ上昇したこと等により、当中間連結会計期間の売上高は305億37百万円（前中間連結会計期間比5.9％増）となり、経常利益は５億16百万円（前中間連結会計期間比66.2％増）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は３億25百万円（前中間連結会計期間比90.8％増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

### １　エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、採算販売を重視した営業活動に加え、ＳＳ事業において、販促ツールを活用した顧客の固定化施策による燃料油の売上確保に努めました。また定期的な研修会を実施することで、従業員の営業力の底上げを図り、油外商材の販売拡大と顧客満足度の向上に取り組みました。

ガス部門では、新規顧客の開拓や燃料転換ニーズの取り込みに向けた営業活動を積極的に推進するとともに、採算性を重視した販売に注力し、利益の確保に努めました。また、補助金制度等を活用した住宅設備機器の提案・販売を強化し、収益基盤の安定化を図りました。

以上の結果、ＬＰガスの販売価格が前期に比べ上昇したこと等により、売上高は229億96百万円（前中間連結会計期間比6.8％増）となり、セグメント利益（営業利益）は２億83百万円（前中間連結会計期間比38.6％増）となりました。

### ２　ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、アニメ化作品を中心としたコミックや文学賞関連商品の拡販を図るとともに、季節商材やトレンド商品の売場展開を強化し、多様な顧客のニーズの取り込みに注力しました。また、新規事業として、インドアゴルフスクールの「ステップゴルフ」事業へ参入し、鹿児島市のオプシアミスミ内にステップゴルフプラス宇宿店を2026年６月にオープンいたしました。

オプシアミスミでは、ＳＮＳ等を活用したデジタル広告の強化に加え、クーポン配布などの懸賞企画やステージイベント、新駐車場の周知を目的としたイベントの開催を通じて来店を促し、集客力の向上に努めました。

しかしながら、建設部門において大型工事の受注件数が前期に比べ減少したこと等により、売上高は35億41百万円（前中間連結会計期間比3.4％減）となり、セグメント利益（営業利益）は46百万円（前中間連結会計期間比44.8％減）となりました。

### ３　フード＆ビバレッジ

「フード＆ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力業態であるＫＦＣにおいて、店舗イメージの刷新を目的とした店舗改装を進めるとともに、食品ロスの削減等を通じたフードコスト管理を徹底し、収益性の改善に努めました。また、新規出店先として2026年４月に熊本県人吉市にピザハット人吉店をオープンいたしました。

以上の結果、売上高は39億99百万円（前中間連結会計期間比9.8％増）となり、セグメント利益（営業利益）は３億21百万円（前中間連結会計期間比30.0％増）となりました。

## （２）財政状態に関する説明

（財政状態）

当中間連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて２億15百万円増加し、436億73百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少する一方、投資有価証券やのれんが増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて３億58百万円減少し、214億45百万円となりました。これは主に、繰延税金負債や借入金が増加する一方、未払消費税等、買掛金及び未払金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて５億73百万円増加し、222億28百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金や利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、売上債権の減少７億73百万円、税金等調整前中間純利益５億74百万円及び減価償却費４億34百万円等の資金の増加がありましたが、固定資産の取得８億48百万円、法人税等の支払い３億56百万円及び棚卸資産の増加２億84百万円等の資金の減少により、前連結会計年度に比べ１億95百万円減少し、当中間連結会計期間は35億96百万円（前中間連結会計期間比23.7％減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加額は、６億35百万円（前中間連結会計期間比51.0％減）となりました。これは主に、法人税等の支払い３億56百万円及び棚卸資産の増加２億84百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少７億73百万円、税金等調整前中間純利益５億74百万円及び減価償却費４億34百万円等の資金の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少額は、７億64百万円（前中間連結会計期間比31.3％減）となりました。これは主に、固定資産の取得８億48百万円等の資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少額は、67百万円（前中間連結会計期間は２億15百万円の増加）となりました。これは主に、借入金の増加１億３百万円の資金の増加がありましたが、配当金の支払い１億41百万円等の資金の減少によるものであります。

## （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2026年５月13日発表から変更ありません。

## ２．中間連結財務諸表及び主な注記

### （１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（2026年３月31日） | 当中間連結会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,613 | 4,419 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 5,921 | 5,153 |
| 商品及び製品 | 3,198 | 3,430 |
| 仕掛品 | 4 | 28 |
| 原材料及び貯蔵品 | 22 | 50 |
| その他 | 693 | 731 |
| 貸倒引当金 | △3 | △3 |
| 流動資産合計 | 14,450 | 13,811 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 5,875 | 5,862 |
| 土地 | 12,504 | 12,514 |
| その他（純額） | 1,587 | 1,558 |
| 有形固定資産合計 | 19,967 | 19,934 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 893 | 1,135 |
| その他 | 100 | 96 |
| 無形固定資産合計 | 994 | 1,232 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,729 | 6,373 |
| その他 | 2,427 | 2,446 |
| 貸倒引当金 | △110 | △125 |
| 投資その他の資産合計 | 8,046 | 8,695 |
| 固定資産合計 | 29,007 | 29,862 |
| 資産合計 | 43,458 | 43,673 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,812 | 2,635 |
| 短期借入金 | 4,910 | 4,880 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,773 | 3,772 |
| 未払法人税等 | 383 | 248 |
| 賞与引当金 | 350 | 355 |
| その他 | 1,478 | 1,120 |
| 流動負債合計 | 13,707 | 13,011 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,610 | 5,745 |
| 役員退職慰労引当金 | 230 | 241 |
| その他 | 2,254 | 2,447 |
| 固定負債合計 | 8,095 | 8,433 |
| 負債合計 | 21,803 | 21,445 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（2026年３月31日） | 当中間連結会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,690 | 1,690 |
| 資本剰余金 | 1,646 | 1,646 |
| 利益剰余金 | 15,965 | 16,148 |
| 自己株式 | △740 | △763 |
| 株主資本合計 | 18,562 | 18,723 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,691 | 3,124 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 88 | 72 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,780 | 3,197 |
| 非支配株主持分 | 311 | 307 |
| 純資産合計 | 21,654 | 22,228 |
| 負債純資産合計 | 43,458 | 43,673 |

## （２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

### 中間連結損益計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 28,849 | 30,537 |
| 売上原価 | 22,615 | 23,775 |
| 売上総利益 | 6,233 | 6,761 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,112 | 6,526 |
| 営業利益 | 121 | 235 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10 | 14 |
| 受取配当金 | 78 | 92 |
| 受取賃貸料 | 114 | 120 |
| その他 | 133 | 180 |
| 営業外収益合計 | 336 | 407 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 70 | 98 |
| 賃貸費用 | 22 | 22 |
| 固定資産除却損 | 46 | 2 |
| その他 | 7 | 1 |
| 営業外費用合計 | 147 | 126 |
| 経常利益 | 310 | 516 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 3 | 110 |
| 投資有価証券売却益 | 13 | ― |
| 特別利益合計 | 17 | 110 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | ― |
| 減損損失 | 8 | 10 |
| 災害による損失 | ― | 32 |
| 投資有価証券評価損 | ― | 9 |
| 特別損失合計 | 8 | 52 |
| 税金等調整前中間純利益 | 319 | 574 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 110 | 224 |
| 法人税等調整額 | 41 | 28 |
| 法人税等合計 | 152 | 253 |
| 中間純利益 | 167 | 321 |
| 非支配株主に帰属する中間純損失（△） | △3 | △4 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 170 | 325 |

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 中間純利益 | 167 | 321 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 734 | 433 |
| 退職給付に係る調整額 | △30 | △16 |
| その他の包括利益合計 | 704 | 417 |
| 中間包括利益 | 871 | 738 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 874 | 742 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | △3 | △4 |

## （３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 319 | 574 |
| 減価償却費 | 405 | 434 |
| 減損損失 | 8 | 10 |
| 固定資産除却損 | 46 | 2 |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | － | 9 |
| のれん償却額 | 86 | 94 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △6 | 14 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 6 | 4 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | 6 | 10 |
| 退職給付に係る資産の増減額（△は増加） | △8 | △6 |
| 受取利息及び受取配当金 | △88 | △106 |
| 支払利息 | 70 | 98 |
| 固定資産売却損益（△は益） | △3 | △110 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △13 | ― |
| 受取保険金 | △2 | ― |
| 災害損失 | － | 32 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 1,535 | 773 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | △23 | △284 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △694 | △176 |
| その他 | △158 | △384 |
| 小計 | 1,483 | 992 |
| 利息及び配当金の受取額 | 85 | 102 |
| 利息の支払額 | △73 | △103 |
| 保険金の受取額 | 2 | ― |
| 法人税等の支払額 | △198 | △356 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,298 | 635 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △7 | △7 |
| 定期預金の払戻による収入 | 12 | 6 |
| 固定資産の取得による支出 | △1,069 | △848 |
| 固定資産の売却による収入 | 6 | 130 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △18 | △22 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 20 | ― |
| 差入保証金の差入による支出 | △10 | △16 |
| 差入保証金の回収による収入 | 2 | 2 |
| その他 | △46 | △7 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,111 | △764 |

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | ― | 100 |
| 短期借入金の返済による支出 | △140 | △130 |
| 長期借入れによる収入 | 2,600 | 2,300 |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,076 | △2,166 |
| リース債務の返済による支出 | ― | △6 |
| 自己株式の取得による支出 | △21 | △22 |
| 配当金の支払額 | △142 | △141 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △3 | ― |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 215 | △67 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 402 | △195 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,313 | 3,791 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 4,715 | 3,596 |

## （４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

記載すべき事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額（注）１ | 中間連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | エネルギー | ライフスタイル | フード&ビバレッジ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 21,541 | 3,666 | 3,641 | 28,849 | ― | 28,849 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 20 | 36 | ― | 56 | △56 | ― |
| 計 | 21,561 | 3,702 | 3,641 | 28,905 | △56 | 28,849 |
| セグメント利益 | 204 | 83 | 247 | 535 | △413 | 121 |

（注）１　セグメント利益の調整額△413百万円には、セグメント間取引消去１百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△414百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「エネルギー」セグメントにおいて８百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額（注）１ | 中間連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | エネルギー | ライフスタイル | フード＆ビバレッジ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 22,996 | 3,541 | 3,999 | 30,537 | ― | 30,537 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 14 | 33 | ― | 48 | △48 | ― |
| 計 | 23,010 | 3,575 | 3,999 | 30,585 | △48 | 30,537 |
| セグメント利益 | 283 | 46 | 321 | 650 | △415 | 235 |

（注）１　セグメント利益の調整額△415百万円には、セグメント間取引消去０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△416百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「フード＆ビバレッジ」セグメントにおいて10百万円を減損損失として特別損失に計上しております。